

OECD も注目する日本の「BUKATSU」を持続可能に！ 部活動の救世主「コーチクエスト」誕生 「教師の働き方改革」と「生徒の学習・自治」を実現するプラットフォーム

このたび、関西大学人間健康学部 神谷拓教授は、株式会社 STEAM Sports Laboratory（本社：東京都港区、代表取締役：山羽 教文、以下「SSL 社」）と連携し、オンラインのプラットフォームを通じて、「教師の働き方改革」と「生徒の学習・自治」とを同時に追求する「コーチクエスト」を開発しました。

本件のポイント

- ・ 学校外の専門家とオンラインの力で部活動を展開！令和時代の新しい部活動のカタチ！
- ・ 生徒による学習・運営を励ますコンテンツ。プラットフォームに記録を残すことで進学・面接対策！
- ・ 働き方改革を進めることで教師もニコリ！プラットフォームで内申書・調査書の作成もサポート

日本の部活動は、OECD（経済協力開発機構）でも注目されています。OECD は、日本の部活動が生徒の社会性や、主体的な課題解決の力をつけるうえで重要な役割を果たしていると評価し、「教師の働き方改革」を進める一方で、部活動のような「日本の強み」を失うことがないように求めています。

いっぽう近年、多くの教師が長時間の部活動指導や管理業務に追われ、過労やストレスを抱えています。こうした背景から、文科省では部活動の地域移行や、学校と地域の連携を進めているものの、地域に適切な施設や代替の専門家がない自治体も多いのが現状です。

こうした「教師の働き方改革」の課題を解決すべく、「コーチクエスト」が開発されました。「コーチクエスト」は、学校外の専門家の知識とオンライン技術を活用し、新しい部活動の形を提供します。このプラットフォームは、専門的な指導を受けながら自主的に活動できる環境を整えることで、生徒の主体性と学習意欲を高めます。また、オンデマンドのコンテンツにより、場所や時間を問わずに学習やトレーニングが可能であり、指導者が直接立ち会うことなく、全国どこからでもサポートを受けることができます。

「コーチクエスト」では、生徒が自ら学び、部活動を運営するためのコンテンツが用意されています。学習記録や活動の振り返りをプラットフォームに記録することで、生徒は自己管理能力や問題解決能力を養うことができます。これらの記録は、進学や面接時のポートフォリオとして活用できるため、生徒の将来にも大きなメリットをもたらします。同時に、教師の進路指導に関わる負担（書類作成に関わる負担）も軽減でき、「教師の働き方改革」を進める意味を持ちます。

神谷教授は、「学校外の人材の活用やオンライン・オンデマンドのサポートを通じて、部活動の質を向上させることが目標。現場の先生たちの負担を少しでも軽減できるような仕組みを作りつつ、これまでの部活動で重視されてきた生徒の主体性のクオリティを高めたい」とコメントしています。生徒と教師の双方にとって有益なツールとして、今後の部活動の新しいスタンダードとなることを目指します。

■ 「コーチクエスト」の特長

○オンデマンド教材：専門家によるトレーニングや戦略、技能の向上を図るためのビデオコンテンツを提供。動画を通して生徒は好きな時間に学習でき、スキルアップを目指すことができます。

○オンラインコーチング：特定の時間にオンラインで実施されるコーチングセッションに参加することで、リアルタイムでのフィードバックを受けることができます。

○活動記録とポートフォリオ：生徒は自分の活動を記録し、それを振り返ることで自己成長を確認できます。これらの記録は入試・面接・内申書・調査書に活用できるので、生徒と教師の双方にメリットがあります。



< 「コーチクエスト」イメージ図 >

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：小林、伊地知、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel. 06-6368-0007 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

▼関連リンク

○コーチクエスト 説明会資料

<https://coachquestwebinar.connected-one.world>



<説明会資料>



<紹介チラシ>

○株式会社 STEAM Sports Laboratory

<https://pando.life/steamslab>

メール info@steams-jp.com

○関西大学 神谷 拓 研究室

<https://wps.itc.kansai-u.ac.jp/kamiya/>

▼神谷 拓 (かみや たく) プロフィール

関西大学 人間健康学部 人間健康学科 教授

専門： 体育科教育学、スポーツ教育学
とりわけ、これまで未開の研究領域であった
運動部活動や教科外体育の研究に従事

○略歴

中京大学 体育学部武道学科 卒業 (1998)

和歌山大学大学院 修士課程 教育学研究科 修了 (2000)

筑波大学大学院 博士課程 人間総合科学研究科 修了 (2008)

○学位

博士 (教育学) 2008年3月 筑波大学

修士 (教育学) 2000年3月 和歌山大学



○所属学会

日本体育学会 (体罰・暴力根絶特別委員会・体育科教育学専門領域選出協力委員 2014年1月 - 2015年3月)

日本スポーツ教育学会

日本体育科教育学会 (理事：2017年4月～2021年3月、2023年4月～)

日本教育学会

日本部活動学会 (副会長：2017年12月～2020年3月、会長：2020年4月～)

○単著

- ・ 僕たちの部活動改革 部活自治 10のステップ かもがわ出版 2020年5月7日
- ・ 生徒が自分たちで強くなる部活動指導 「体罰」「強制」に頼らない新しい部活づくり 明治図書 2016年3月4日
- ・ 運動部活動の教育学入門 歴史とのダイアログ 大修館書店 2015年9月10日

○編著

- ・ 部活動は日本の強み 大修館書店 2024年2月15日
- ・ 運動会指導の原理と実践 大修館書店 2022年8月20日
- ・ 部活動学 子どもが主体のよりよいクラブをつくる24の視点 ベースボールマガジン社 2020年6月30日
- ・ 大野貴司・神谷拓・竹内治彦編 体育・スポーツと経営 スポーツマネジメント教育の新展開 ふくろう出版． 2011年4月

○メディア掲載多数 <https://x.gd/PXSGF>